

# 別海町郷土資料館だより

No. 87・2006・10

## ふるさと講座 歴史系 第4回目のご案内

### まがたま 古代の装飾品「勾玉を作ろう」

- 日時** 平成18年10月14日(土)  
午前10時～12時30分
- 場所** 別海町郷土資料館前広場(雨天時図書館車庫内)
- 講師** 別海町郷土資料館 主任 石渡 一人
- 参加対象** 小学生～大人まで
- 募集人員** 30名(親子でも参加可能です。ただし、幼児は、保護者の方と一緒に参加してください。)
- 申し込み受付期間**  
平成18年10月13日(金)まで、名前・電話番号・作成個数をご連絡ください。
- その他** 1. 石粉が出ますので、マスク・タオルなどを持参ください。



**今回は、滑石という軟らかい石で作ります。誰でもかんたんに作れますので、ぜひ、ご参加ください。**

## 勾玉一口メモ

勾玉とは、縄文時代の終わり頃から古墳時代くらいに作られていた装飾品です。誰が何の為に作り始めたのかは謎の部分が多く残っています。一般的には権力の象徴として王やその一族が装飾品として身に付けたと考えられていますが、占い師や神事に関わる人達も付けていたり、また神殿の柱の下に埋めてあったり、葉の中に入れてあったりする事もあり、ただの飾りではなかった様に思います。日本書紀や古事記の中にも幾たびも書かれていて、それはゆらゆら振ってみたり、噛み砕いたり、カチャカチャとぶつけ合ったり…！？とにかく呪術的に使われている事が出土例や日本書紀・古事記からもわかります。現代だとパワーストーンを売っているお店でいろんな材質の勾玉が売られています。

## 別海町では？

勾玉は残念ながら、発見されていませんが、上風連の厚別3遺跡で縄文時代の晩期(約3000年前)の遺物と一緒に垂飾(すいしょく・たれかざり)という装飾品が2個見つかっています。近隣では根室市で発見されていますので今後、勾玉などが発見される可能性はあります。



厚別3遺跡の縄文時代の装飾品

## 動物の骨格標本をつくる。

今年の5月、野付半島でゴマフアザラシの死骸が発見されました。皮は、カラスなどに突かれ、剥製には不向きなことから、研究用の骨格標本を作りに挑戦してみました。計測し網で包み、地中に埋め微生物により皮・肉を分解するという単純な作業です。



骨格標本は、その動物がどのような過程を経て生活環境に適応したかなど、その歴史を知ること出来ます。掘り出しは1年後で、クリーニング作業も必要となりますが、剥製とはまた違った資料として別海町生息する動物の生態を知ることが出来ると思います。

**※この作業は、研究用ということで、許可をとっています。一般のご家庭では出来ませんのでご了承ください。**

## 主催事業ふるさと講座 歴史系第3回目・遺跡体験発掘

9月1日（金）に標津町ポー川史跡自然公園内の「伊茶仁カリカリウス遺跡」で体験発掘を実施しました。

同遺跡は370ha、縄文～擦文時代の竪穴住居跡が約2600個程あり、国の史跡に指定されています。平成16年度から遺跡全体の時期や内容を把握する目的で調査が行われています。

平日の開催にもかかわらず13名の参加があり、調査を担当している梶田光明園長より遺跡や今年度の調査の成果をお聞きしました。大きな竪穴住居跡が無数に広がり、「こんなにあるの」と参加者は驚いていたようです。

発掘は、2×2mの試掘溝を設定し、表土をスコップで、その後移植ゴテを使い丁寧に掘り上げる作業でした。残念ながら遺物等は発見されませんでした。機会があればまたやってみたいとの感想が多かったです。



### 郷土資料館のお知らせ（10月）

- 休館日 7日・9日・15日・21日・23日・29日
- 開館時間  
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 観覧料  
一般個人 300円 一般団体（10名以上）240円  
高校生以下は無料となります。

別海町郷土資料館だより No.87

発行日 平成18年10月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802（FAX兼）

e-mail kyoudo@betsukai.gr.jp

編集後記 H15～17に調査した野付通行屋跡遺跡からも動物の骨が多数出土し、魚、陸獣・鳥獣・海獣などが含まれています。比較するサンプルと専門知識がないため、同定は、専門家をお願いしています。色々な骨格標本を作ることによりこうした同定も出来ることと思いますが、たくさんの修行が必要ですね。（石渡）